



薩建政第147号
平成19年5月7日

国土交通省道路局長 様

薩摩川内市長 森 卓 朗



中期的な計画の作成にあたっての意見書提出について

平成19年4月2日付国道企第114号で依頼のあった表記の件について、
別添のとおり提出します。

連絡先

895-8650

薩摩川内市神田町3番22号

薩摩川内市役所 建設部 建設政策課

(0996) 23-5111 内線：3110

担当：吉川，脇園

道路整備の中期的な計画作成あたっての意見書

鹿児島県薩摩川内市長 森 卓 朗



1 重点化を進める上で特に優先度の高い政策

(1) 地域振興の基盤となる高規格幹線道路網の整備

南九州西回り自動車道等、高規格幹線道路網の整備は周辺市町を含めた沿線都市間の人、物、情報の交流や有機的連携を強化し、地域を活性化するとともに地域経済の浮揚に寄与するものであり、また高次医療施設への広域的アクセスを円滑にし、災害時には代替道路として住民の安心・安全を確保するなど、地域振興の基盤としてその効果は大であり、優先すべき重要な政策であると考え。特に、本地域にとって、南九州西回り自動車道及び東九州自動車道は極めて重要な路線で、最優先での整備が必要であり、整備が促進された後、地域高規格道路網を整備すべきものと考え。

(2) 市町村の合併を支援する地域の基幹道路整備

平成の大合併により多数の新市・町が誕生したところであるが、広域となった行政区域においては、通勤車両や大型車両等の交通量が多いにもかかわらず、道路幅員が狭小で歩道もない路線やカーブの多い路線がある。

これらの基幹道路については安全確保と交通緩和を図るとともに、合併効果の早期発現のため、内外の交流を促進し一体感の醸成・連携を進める地域間交流軸として早急に整備する必要があることから、優先すべき重要な政策であると考え。

2 効率化を徹底的に進める上で重視すべきこと

- (1) 入札契約方法の改善，工法の工夫や新技術の活用によるコスト縮減
- (2) 既存の道路橋梁の長寿命化のための計画的な管理
- (3) 市町村に対する技術的支援
- (4) 地方道路整備臨時交付金の手続きの簡素化

3 その他，道路政策や道路の整備・管理全般に関する意見

真に必要な道路整備を進めるためには、財源を安定的に確保することが不可欠である。

道路特定財源については地域の実情に十分配慮し、地域のために真に必要な道路整備が遅れることなく計画的に進められるよう、安定的な財源として確保すべきものと考え。

平成19年5月1日